

事業報告令和3年度

子どもゆめ基金 20周年記念事業

たかとお森の楽校 ～秋～

令和3年10月23日(土)～24日(日)

【対象】小学校4年生～6年生

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

1. 趣旨

当施設は、森に囲まれた施設であり、様々な動物や野鳥などを観察することができる。森は私たち人間のみならず、多くの生き物の暮らしを支えている。そこで、森での体験をするとともに森の役割や大切さについて学ぶ機会とする。森林 ESD を通して次代を担う子どもたちを対象とした事業を実施する。

2. 事業の概要

(1)期 日 令和3年10月23日(土)～10月24日(日)

(2)参加者 21名

(3)日 程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
10/23 (土)							受付	開 会 式	活動① 「森の間伐体験」			宿泊 準備	夕 食	活動② 「木工 体験」	入 浴		就 寝
10/24 (日)	起 床	準 備	朝 食	活動③ 薪割り	活動④ 「季節の野外炊飯」			閉 会 式	解 散								

3. 企画運営のポイント

- ・間伐体験で自分たちで切った木を用いて木工体験(木のコースター作り)を行うことで、木を切るだけでなく切った木の活用までを考える機会とした。
- ・薪割り、野外炊飯では燃やした木の重量から簡易的に二酸化炭素排出量を算出させることで、無駄なエネルギーの使用を減らすことや地球温暖化について考える機会とした。

4. 参加者アンケート、保護者アンケートより（一部抜粋）

- ・森の大切さや知らなかったことを知れてとても貴重な体験だったなあと思います。(間伐体験・5年男子)
- ・手とかが痛くなったけどいい経験になってよかったです。木とかが太かったりしたから切りにくかったけど頑張れたのでよかったです。(間伐体験・4年女子)
- ・自分オリジナルのものを作るのが楽しかったし集中してみんな協力できてよかったです。(木工体験・5年女子)
- ・ノコギリで自分で木を切って木をヤスリで磨くなど、一からできて絵を描いたのが電熱ペンみたいなやつでちょっと緊張した。(木工体験)
- ・1番危なかったけど怪我なくてよかったです。一番楽しかったです(薪割り体験)。
- ・野外炊飯で作ったきのこご飯は下らへんにおこげができてとてもおいしかった。ホイル焼きは作るのが難しかったけどおいしかった(野外炊飯)
- ・キノコが苦手家でなかなか食べないのですが、キノコのご飯を食べ美味しかったと聞き驚きました。しかも自分で作ると張り切って言っています。週末は同じ献立で夕飯を作ってくれるみたいなので楽しみにしているところです。(保護者)
- ・今回 親の勝手に申し込んでしまったのですが、行く前は嫌がっていたのに帰ってきた時はとても良い顔で、行って良

かった！と沢山話をしてくれました。知らない子どもも短期間で仲良くなれとても良い経験が出来たと思います。初めての参加でしたが 申し込んで本当に良かったです。有り難うございました。(保護者)

5. 事業中の様子

【森の役割についてのお話】



【木工体験①】



【野外炊飯①】



【間伐体験①】



【木工体験②】



【野外炊飯②】



【間伐体験②】



【薪割り体験】



【閉会式】



6. 成果と課題

(1) アンケート結果 回収 21 名 (回収率 100%)

事業全体を通して	満足 : 20 名	95.2 %
	やや満足 : 1 名	4.8 %
	やや不満 : 0 名	0 %
	やや不満 : 0 名	0 %

(2) 成果と課題

○木工体験の際、材料の木を見て「これ今日自分たちで切った木?」、「これで作るの? すごい!」といったような言葉が聞かれた。間伐するだけでなく、自分たちで切った木を使う観点で多くの子ども達が感動したり、興味を持たせることができた。

○野外炊飯で木の重量を測定し、簡易的に二酸化炭素排出量を計算させると、子ども達が自然と自分たちの班と他の班の計算結果から、どの班が一番少ないかを比較していた。これらから環境に対する意識が向上したと思われる。

- 間伐体験の際、子ども達に自由に立木を切る時間を設けたが、かなり広い範囲に広がってしまい、リスクマネジメントが難しくなってしまった。自由に切つてよい範囲をもう少し限定して実施する必要がある。
- 事業期間中を通して、非常に寒く、外での活動の際の防寒対策の徹底が必要であった。